

令和4年12月15日

6年生 保護者の皆様

丹波市立崇広小学校  
校長 堀 博文

### 全国学力・学習状況調査の結果概要について

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、本校の教育にご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本校では本年4月19日に小学校6年生を対象に実施されました「全国学力・学習状況調査」の結果を分析し、成果や課題を明らかにすることで、指導の充実や授業の改善を進めているところです。

また今回、本校の児童の状況や指導上改善すべき点について保護者の皆様にお知らせすることで、学校と家庭の連携による児童の学力や学習意欲、学習・生活習慣の向上を図っていききたいと考えています。

つきましては、以下のとおりお知らせしますので、ご一読いただきますようお願いいたします。

ただし、この調査結果が学力のすべてを表しているものではなく、あくまでも一つの調査の結果から推し量れるものであります。記述による調査では測れない能力や態度、個性を子どもたちはもっています。そのことを踏まえつつ、子どもたち一人ひとりが楽しく学び、学力を確実に身につけていくために生かしていきたいと考えています。

#### 1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ります。
- (2) 調査全体の取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立します。
- (3) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てます。

#### 2 調査の内容

##### (1) 教科に関する調査

- ア 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- イ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

##### (2) 生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査

- ア 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

#### 3 教科に関する学力調査から

##### (1) 国語

###### ア おおむねできている内容

- 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述をもとに捉える。
- 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く。

###### イ 課題が見られる内容

- △互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる。
- △文章全体の構成や書き表し方などについて着目し、文や文章を整える。

#### ウ 今後の工夫・改善点

- ・授業の中で、自分の意見や条件に沿った文を書く機会を増やし、書く力を養っていく。
- ・「国語が好き」「授業内容がよく分かる」という児童が増えるよう、国語が楽しいと思える授業を展開していく。お互いの文章を読み合い、よい良い文章の書き方を学びとらせる。

### (2) 算数

#### ア おおむねできている内容

- 百分率で表された「割合」と「もとにする量」から、「くらべる量」をもとめる。
- 示された作図のプログラム手順から、平行四辺形であることを判断できる。

#### イ 課題が見られる内容

- △比例の関係を利用して、分かっていない数量の求め方と答えを記述する。
- △目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができる。

#### ウ 今後の工夫・改善点

- ・根拠や理由を明らかにして自分の考えをノートに書いたり、話したりする機会を増やす。
- ・算数を「将来役に立つと考えている児童」は多いのでスキルタイム等を実施し、基礎基本の定着を図り、「できない」と苦手意識を感じる児童を少なくする。

### (3) 理科

#### ア おおむねできている内容

- メスシリンダーの正しい扱い方を身に付け、水の量を読み取れる。
- 結果に対し、他者の意見を参考にして自分の考えを持つことができる。

#### イ 課題が見られる内容

- △凍った水溶液について、試してみたいことをもとに見いだされた課題を記述する。
- △冬の天気と気温の変化の観察結果と、分かったことの因果関係の分析ができる。

#### ウ 今後の工夫・改善点

- ・実験のまとめや考察を、理科学語を使って児童自身が考えて書く。
- ・学んだ内容をもとに、自分が疑問に思ったことや生活に生かしたいことなどを調べる活動を取り入れる。

### (4) 学習・生活に関する質問紙調査から

- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
- 今、住んでいる地域の行事に参加している。
- △1日当たりのゲームの時間が長い児童が多い。
- △家で学習計画を立てて勉強したり、学校の授業以外に勉強したりする児童が少ない。

#### \*今後の工夫・改善点

- ・通信等を用いて、ゲームの時間や就寝時刻のきまりを決めるなど、時間の使い方を各家庭で相談してもらうよう呼びかける。
- ・学年に応じた家庭学習の時間確保を啓発するなど、学校と家庭が連携して学習の基盤づくりを行っていく。また、自主学習の質の向上を図っていく。
- ・キャリアパスポートを使って、各学期に1回は自分自身のことを振り返ったり、家族とともに将来の夢や目標について考えたりする機会を持つ。